



平成 18 年 7 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（3 ヶ月間）（連結）

平成 18 年 5 月 31 日

上場会社名 日本駐車場開発株式会社

（コード番号：2353 東証第一部・JASDAQ）

（URL <http://www.n-p-d.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 巽 一久

問い合わせ先責任者 役職名 取締役副社長 氏家 太郎 TEL (06) 6227-6777

決算取締役会開催日 平成 18 年 5 月 31 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の移動の有無 : 無

2. 平成 18 年 7 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（3 ヶ月間）（平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 4 月 30 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 3 四半期	1,380	28.2	241	11.6	514	102.7	300	101.6
17 年 7 月期 第 3 四半期	1,076	16.8	216	23.4	253	45.6	149	—
(参考) 17 年 7 月期	4,512		979		1,019		612	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 3 四半期	88	39	86	86
17 年 7 月期 第 3 四半期	44	50	43	22
(参考) 17 年 7 月期	183	13	178	76

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期の 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国の経済は、企業収益や雇用状況の改善など景気の回復が見られる一方で、原油の高騰や円高など懸念材料も引き続き存在しました。

駐車場市場においては、今年 6 月に施行される改正道路交通法による路上駐車即時摘発開始など駐車場の利用環境が劇的に変わることが予想されます。また不動産市場においては、構造偽装問題があったものの、J-REIT の新規上場も活発化しており、REIT や私募不動産ファンドの収益重視の姿勢はますます強まるものと考え、不動産オーナーへの営業を強化し、物件の更なる獲得を目指しております。また、既存施設のリニューアルや安全向上などのコンサルティング、メンテナンス業務の獲得も並行して行っております。

当第 3 四半期においては、全国各拠点で直営物件が増加したことに加えて、当第 3 四半期以前に運営を開始した直営物件が順調に稼働した結果、直営事業売上は 1,160,116 千円（前年同期比 21.4%増）となりました。また、商業施設などの大型時間貸しマネジメント物件が順調に増加したため、マネジメント売上は 106,872 千円（前年同期比 94.9%増）と大幅増となりました。韓国でのコンサルティングや地方都市での駐車場コンサルティング業務が増加したことにより、VA サービス売上は 38,678 千円（前年同期比 141.1%増）と大幅増となりました。また、未公開会社や上場会社の支援を行う IPO・IR コンサルティング事業が引き続き順調に推移し、IPO・IR コンサルティング事業売上は 15,519 千円となりました。これらにより全社での売上高は 1,380,397 千円（前年同期比 28.2%増）となりました。

青山エリアの時間貸し駐車場にモデル事務所所属の人員を配置するなどサービスレベル向上の施策を行ったことにより、売上総利益率は 40.5%（前年同期より 1.9 ポイントの低下）となりました。また、社員数の増加、札幌支社開設、名古屋支社移転などにより、売上高販管費率は 23.0%（前年同期より 0.7 ポイントの上昇）、営業利益率は 17.5%（前年同期より 2.6 ポイントの低下）となり、営業利益は 241,202 千円（前年同期比 11.6%増）となりました。営業外収益として、投資有価証券売却益や匿名組合からの分配益などを計上した結果、経常利益は 514,357 千円（前年同期比 102.7%増）となり、第 3 四半期純利益は 300,474 千円（前年同期比 101.6%増）となりました。

平成 18 年 7 月期第 3 四半期財務・業績の概況(3 ヶ月間) (平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 4 月 30 日)

(1) 経営成績(個別)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 3 四半期	1,340	29.7	218	42.4	491	157.4	282	152.0
17 年 7 月期 第 3 四半期	1,033	49.1	153	21.1	190	51.9	112	—
(参考) 17 年 7 月期	3,750		700		741		450	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 3 四半期	83	24	81	80
17 年 7 月期 第 3 四半期	33	52	32	55
(参考) 17 年 7 月期	134	66	131	44

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期の 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。